

# 令和元年度

## 岡山県真庭保健所運営協議会定例会

日時:令和元年10月17日(木)

場所:真庭地域事務所 3階大会議室

1

## 保健所の概要について

2

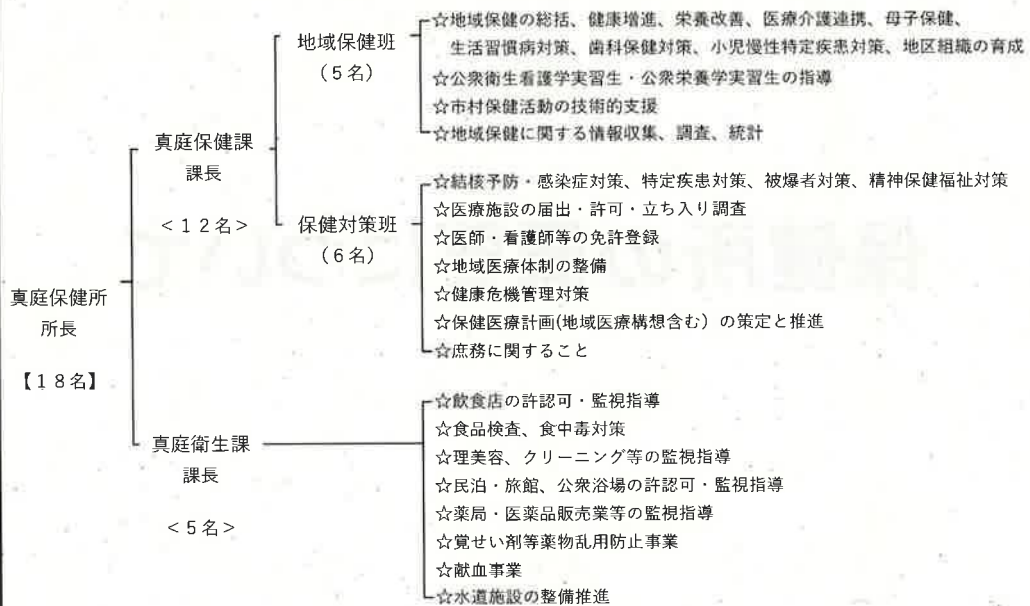
平成21年4月1日から岡山県の保健所は

従来の**9**保健所から**5**保健所**4**支所に再編されています。  
 (岡山市、倉敷市の保健業務はそれぞれ各市の保健所で)



3

### 真庭保健所の組織及び所掌事務の概要

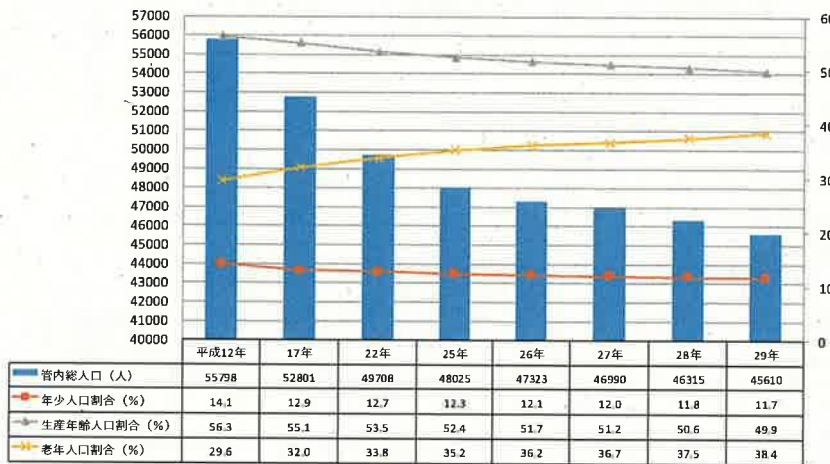


4

# 真庭保健所管内の 人口等の概況

5

## 管内人口及び年少人口・生産年齢人口・老年人口割合の推移

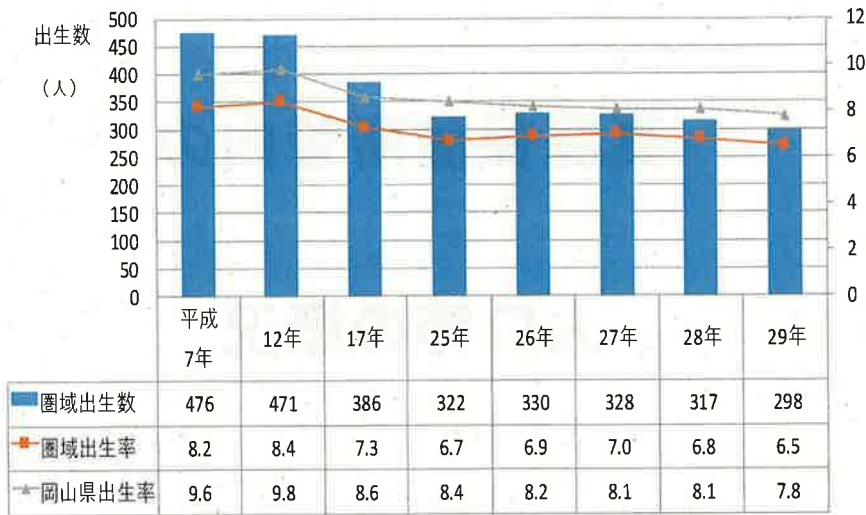


管内人口は毎年減少しており、老年人口割合は毎年増加している。

※ 岡山県統計分析課 「毎月流動人口調査(年報)」  
(H12年、H17、H22年は国勢調査結果)より

6

## 出生数及び出生率の推移

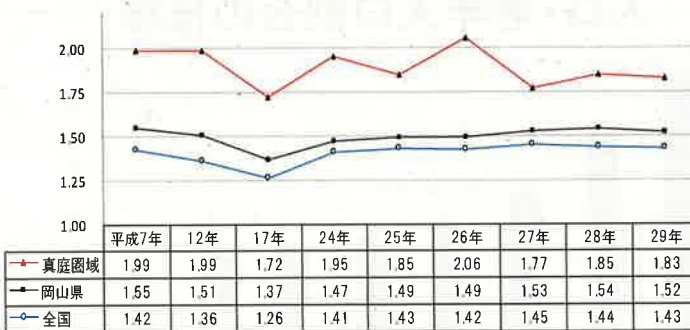


※厚生労働省 人口動態調査より

平成29年の出生数は298人、前年より19人減少。人口千対の出生率は6.5で、前年と比較0.3%減少、県平均の7.8より1.3ポイント低い。

7

## 合計特殊出生率の推移（平成29年まで）



	平成7年	12年	17年	18年	19年	20年	22年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
真庭圏域	1.99	1.99	1.72	1.87	1.88	1.90	2.03	1.95	1.85	2.06	1.77	1.85	1.83
岡山県	1.55	1.51	1.37	1.40	1.41	1.43	1.45	1.47	1.49	1.49	1.53	1.54	1.52
全国	1.42	1.36	1.26	1.32	1.34	1.37	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43

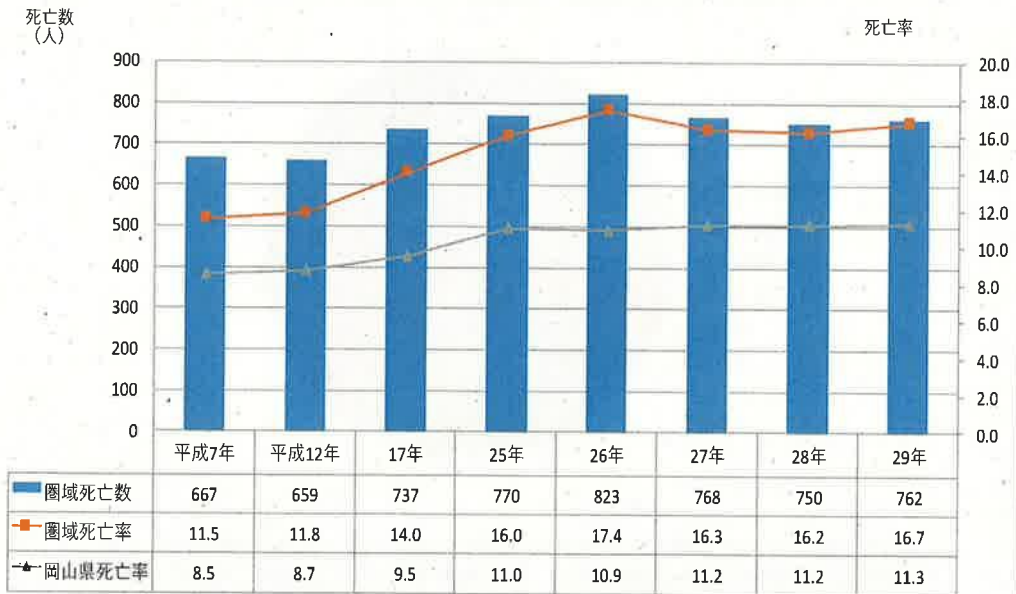
(資料：真庭保健所)

※平成29年の人口は岡山県毎月流動人口調査、出生数は平成29人口動態調査の数値により算出している。厚生労働省の数値とは異なる場合がある。

平成29年の合計特殊出生率は1.83で、前年より0.02減少している。県平均の1.52と比較すると0.31高い。

8

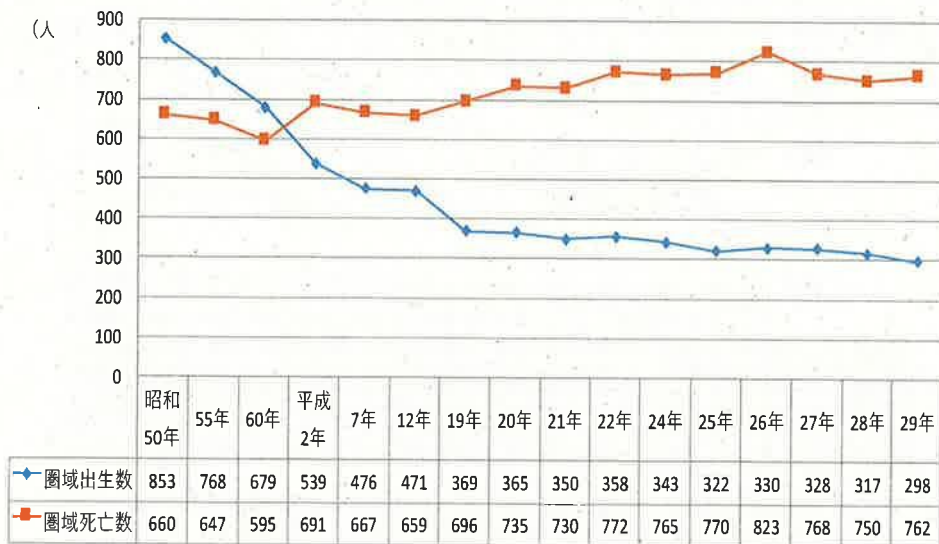
## 死亡数及び死亡率の年次推移（人口千対）



平成29年の死亡数は762人で、前年の750人から12人増加し、死亡率は16.7で県の11.3と比べ5.4高い。

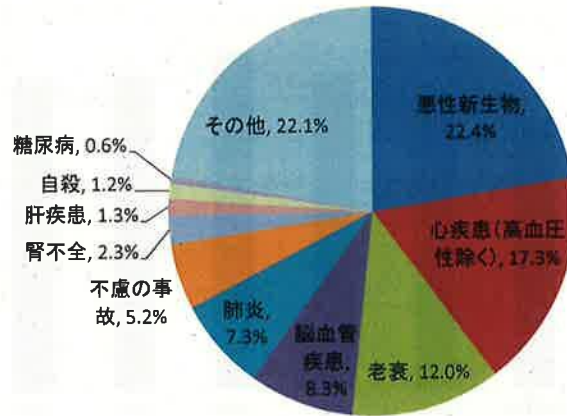
9

## 出生数及び死亡数の推移



10

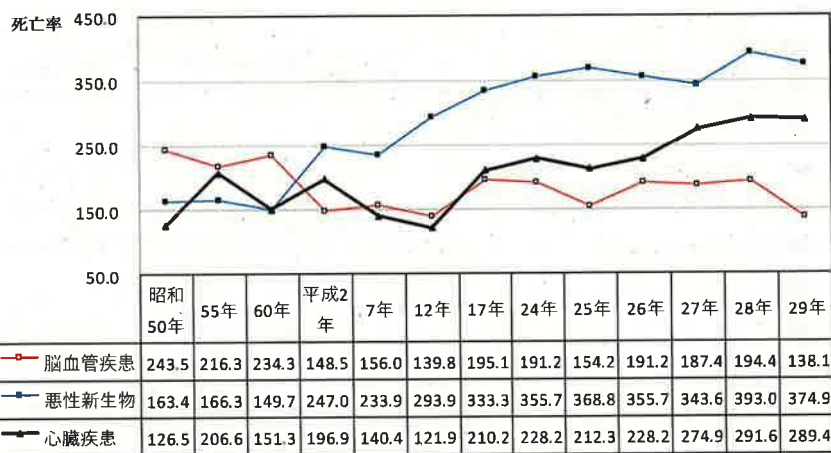
## 平成29年の主な死因の内訳 (管内)



総死亡数762人中最も高い死因は、悪性新生物の22.4%(死亡実数171人)第2位は心疾患で17.3%(実数132人)、第3位は老衰で12.0%(死亡実数92人)第4位は脳血管疾患で8.3%(死亡実数63人)である。

11

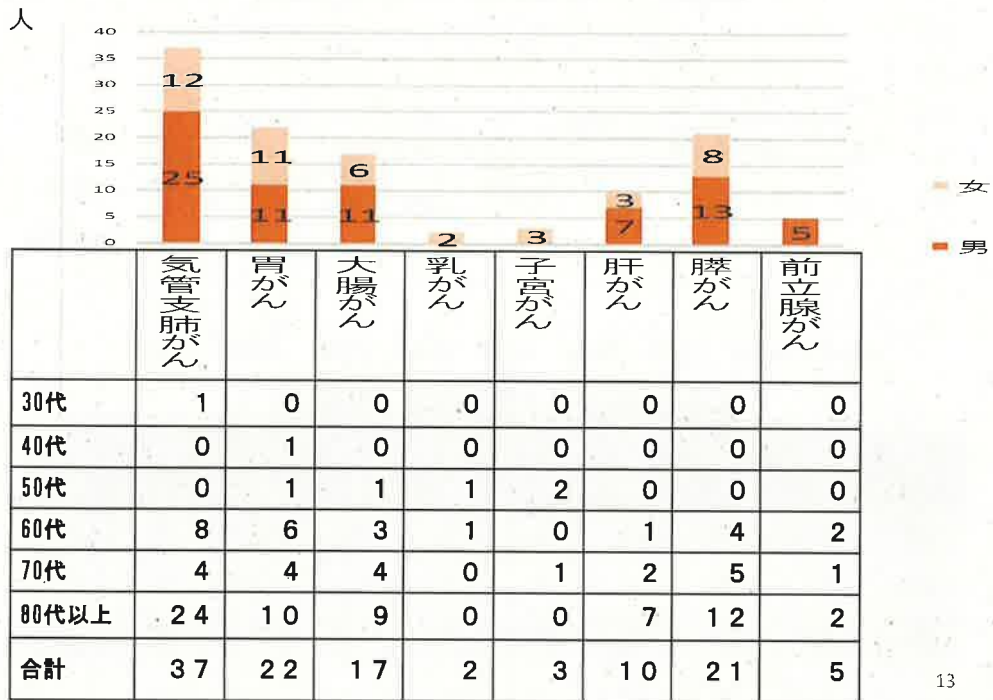
## 主な死因別死亡率の年次推移 (人口10万対)



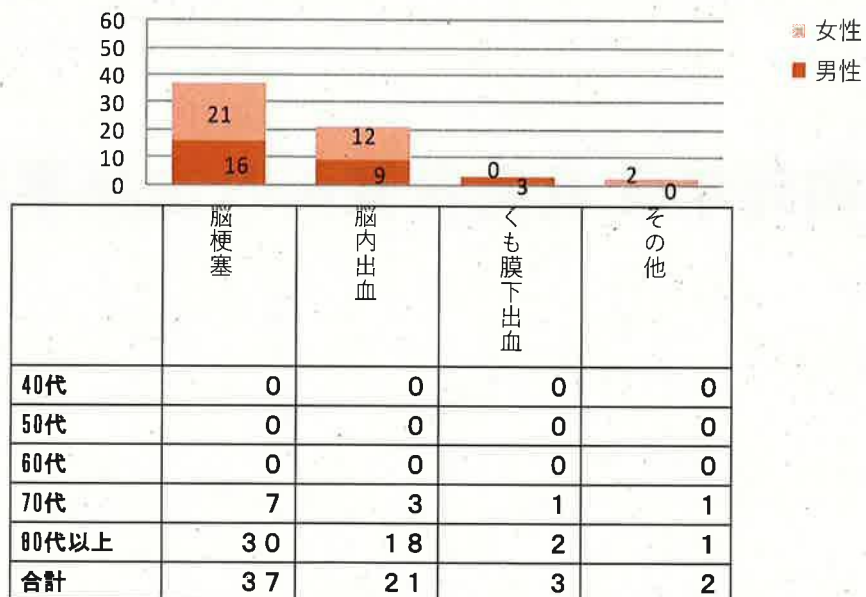
3大成人病の死亡率は、悪性新生物が昭和60年代から死亡順位の第1位であり、その後も増加し、平成29年では人口10万対で374.9(死亡実数171人)である。心疾患は289.4(死亡実数132人)。脳血管疾患は138.1(63人)となっている。近年、悪性新生物を原因とした死亡数及び死亡率の増加が顕著である。

12

平成29年悪性新生物主な部位別・年代別死亡状況（管内）



平成29年脳血管疾患部位別・年代別死亡状況（管内）



## 自殺率の推移(人口10万対)



## 真庭保健所管内自殺者総数の推移(単位:人)

	H20年	H21年	H22年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
男	9	11	14	10	5	3	13	7	8
女	0	0	2	2	4	7	2	3	1
計	9	11	16	15	9	10	15	10	9

15

## 令和元年度 真庭保健所の 主要事業

16



## 【基本方針】

健康福祉部(真庭保健所・美作保健所)

少子高齢化や核家族化等が進展し、高齢化率は30%を超える見込みとなるなど、超高齢社会の中で、生活習慣病の予防や心の健康に問題を抱える人への支援、新型インフルエンザなど新興感染症発生への備え、食の安全・安心の確保、危険ドラッグ等薬物の乱用防止、高齢者や障害のある人への自立した地域生活支援、介護や子育てをする家族への支援など様々な課題が生じている。

このような課題に的確に対応し、人々のつながりの中で生き生きと暮らせる「美作国」を実現するため、地域の保健・医療・福祉・介護の関係者が適切に連携しながら、それぞれが質の高いサービスを切れ目なく提供できる体制の整備や、食の安全・安心の推進、健やかに生きがいを感じながら住み慣れた地域で自立して暮らせる高齢者や障害のある人の地域生活支援、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくり、災害時における保健医療体制の整備や被災者の健康及び避難生活の支援体制の整備などに積極的に取り組む。

17

## 【主要施策】

健康福祉部(真庭保健所・美作保健所)

- 1 地域における医療提供体制の整備
- 2 地域包括ケアの推進等(高齢者の地域生活支援)
- 3 心と体の健康づくりの推進
- 4 生活衛生対策の推進
- 5 障害のある人等の地域生活支援
- 6 子育て支援・少子化対策の推進

## 【主要事業】

真庭保健所

- 1 「第8次保健医療計画」の推進
- 2 健康づくりの推進
- 3 健康危機管理対策の推進
- 4 安全・安心な生活衛生の推進

18

## 「第8次保健医療計画」の推進

19

### ○第8次岡山県保健医療計画の推進の推進について

- ・ 岡山県保健医療計画は、県政の最上位計画である「新晴れの国おかやま生き生きプラン」を踏まえ、限られた医療資源を有効・効率的に活用しながら、住民・患者の視点に立った医療情報の提供や、疾病の予防から治療・リハビリテーション、介護まで、より良質なサービスの提供の確立を目指すことを基本理念としている。
- ・ 本県においては、平成23年4月に計画期間を平成27年度までとする第6次岡山県保健医療計画を策定したところであるが、平成30年度から岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画と計画期間と一致させる必要があることから、平成28年4月に計画期間を平成29年度までの2ヶ年とする第7次岡山県保健医療計画を策定した。
- ・ これにより、平成30年4月に策定された第8次岡山県保健医療計画の計画期間は、令和5年度までの6ヶ年となり、3年計画である岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画の見直しに合わせ、中間見直しを行うこととされている。

20

## ○真庭圏地域医療構想調整会議について

### 1 目的

医療法(昭和23年法律第205号)第30条の14の規定に基づき、真庭圏域の医療提供体制を確保することを目的に、地域医療構想の実現に向けた関係者との協議及び調整等を行う。

### 2 所掌事務

- (1)地域医療構想の策定及び実現に関する事項
- (2)構想区域内における医療提供体制の課題に関する事項
- (3)病床機能報告制度による情報等の共有に関する事項
- (4)医療介護総合確保促進法に基づく県計画(地域医療介護総合確保基金の事業計画)に盛り込む事業に関する事項
- (5)その他、目的を達成するために必要な事項

### 3 委員

医師会の代表者、病院協会の代表者、歯科医師会の代表者、薬剤師会の代表者、看護関係者の代表者、介護関係者の代表者、医療保険者の代表者、市町村の代表者、医療を受ける立場にある者、その他必要と認められる者(学識経験者等) 20名以内(現在17名)

### 4 任期

2年(平成30年3月1日～令和2年2月29日)

### 5 設置年月日

平成28年3月1日

21

## 保健医療対策協議会及び地域医療構想調整会議の開催状況

### 真庭保健医療圏関係

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| ・平成29年度第1回真庭圏域保健医療対策協議会  | 平成29年5月25日(木)  |
| ・平成29年度第1回真庭圏域地域医療構想調整会議 | 〃              |
| ・平成29年度第2回真庭圏域保健医療対策協議会  | 平成29年7月20日(木)  |
| ・平成29年度第3回真庭圏域保健医療対策協議会  | 平成29年10月26日(木) |
| ・平成29年度第2回真庭圏域地域医療構想調整会議 | 平成30年1月18日(木)  |
| ・平成30年度第1回真庭圏域地域医療構想調整会議 | 平成30年8月23日(木)  |
| ・平成30年度第2回真庭圏域地域医療構想調整会議 | 平成30年12月6日(木)  |
| ・平成30年度第3回真庭圏域地域医療構想調整会議 | 平成31年2月7日(木)   |
| ・平成30年度真庭圏域地域医療構想調整会議分科会 | 〃              |

### 県関係

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| ・平成29年度第1回保健医療計画策定協議会    | 平成29年3月21日(火)  |
| ・平成29年度第2回保健医療計画策定協議会    | 平成29年7月4日(火)   |
| ・平成29年度第3回保健医療計画策定協議会    | 平成29年10月3日(火)  |
| ・平成29年度第4回保健医療計画策定協議会    | 平成29年11月27日(火) |
| ・平成29年度第5回保健医療計画策定協議会    | 平成30年2月20日(火)  |
| ・平成29年度岡山県医療審議会          | 平成30年3月13日(火)  |
| ・平成30年度岡山県地域医療構想調整会議(初回) | 平成31年2月19日(火)  |
| ・平成30年度岡山県医療審議会          | 平成31年3月22日(金)  |

22

# 真庭保健課

23

# 平成30年度事業実績 令和元年度事業計画

24

## 健康危機管理(平成30年度実績)

### ○感染症対策研修会

社会福祉施設職員等を対象にした感染症対策研修会 1回 63人

### ○在宅療養中の重症難病患者に対する取り組み

災害時要援護者リストの作成及び市へのリスト提供

(対象者:真庭市22人、新庄村0人)

災害時要援護者への緊急医療支援手帳等による防災啓発

### ○精神保健福祉

市村、精神科医療機関をはじめとする関係機関と連携し、緊急対応に至らないよう、日頃から保健福祉活動を進めた。

25

## 健康危機管理(令和元年度計画)

### ○健康危機管理地域連絡会議・新型インフルエンザ地域連絡会議 関係機関と有機的な連携を図るための連絡会議

(9月11日開催(真庭市消防本部))

### ○感染症対策研修会

社会福祉施設職員への結核及びインフルエンザ対策研修会  
(11月開催予定(勝山文化センター))

### ○感染症患者等移送ネットワークに係る研修会

(9月11日開催(真庭市消防本部))

### ○在宅療養中の重症難病患者に対する取り組み

災害時要援護者リストの作成及び市村へのリスト提供

災害時要援護者への緊急医療支援手帳等による防災啓発

### ○精神保健福祉

精神保健実務者会議等の開催を通じ、関係機関との連携強化を進め、緊急対応発生 of 未然防止を図る。

26

## 感染症対策(平成30年度実績)

### ○結核対策

登録患者(H30年12月末) 6人  
 新規患者(H30年) 5人  
 DOTS 実5人、延54人

### ○施設内集団感染対応

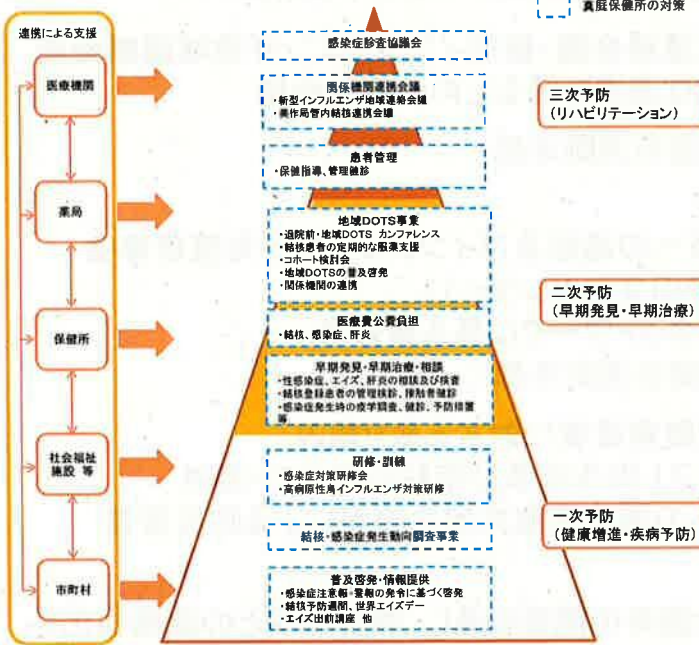
インフルエンザ 5施設  
 ノロウイルス 1施設

### ○エイズ等性感染症対策

HIV抗体検査 4件 性感染症検査 4件  
 エイズ出前講座 5回  
 世界エイズデーキャンペーン啓発

27

## 令和元年度 真庭保健所管内 感染症対策



### 令和元年度 事業計画及び実績

- 感染症診療協議会結核部会  
毎月第2・4火曜日(美作保健所)
- 関係機関連絡会議  
・新型インフルエンザ地域対策会議  
1回/年予定  
・美作局管内結核連絡会議  
R1.7.1(津山中央病院)
- 結核対策(地域DOTS)  
・退院前・地域DOTSカンファレンス  
・定期的な服薬支援  
・コホート検討会 1回/年予定  
・岡山晴れ晴れDOTS手帳の活用
- 早期発見・早期治療・相談  
・健康相談 毎月第3火曜日  
・夜間エイズ検査  
R1.6.6(検査普及週間)  
R1.12.4予定(12/1世界エイズデー)
- 研修・訓練  
・感染症対策研修会 R1.11月予定  
・感染症患者等移送ネットワー  
ク研修会 R1.9.11
- 普及啓発・情報提供  
・世界エイズデーキャンペーン啓発  
・エイズ出前講座 予定  
R1.9.25 真庭高等学校落合校地  
R1.11.6 勝山高等学校蒜山校地  
R1.12.20 真庭市立天津小学校

28

## 結核対策(平成30～令和元年度)

### ○管内の状況

- ・結核登録患者(H31年1月～R元年8月末) 4人(65歳以上 3人)
- ・新規患者(H30年) 5人(65歳以上 4人)
- ・結核罹患率(10万人対)(H30年) 11.2(概数、【県:9.9 国:12.3】)

### ○地域DOTS推進事業

医療機関等と保健所が連携して結核患者の服薬を支援することにより治療の完遂を図るとともに、薬剤耐性結核菌を防止し結核のまん延防止を図るために地域DOTSを行ってきた。

H25年度から、全結核患者に対して行っており、地域DOTSの一層の推進を図る。

- 1 退院前・地域DOTSカンファレンス
- 2 定期的な服薬支援
- 3 コホート検討会での服薬支援計画の評価・見直し
- 4 地域DOTSの普及啓発
- 5 全結核患者に対して地域DOTSを実施するため、地域の医療機関・薬局などと連携する。

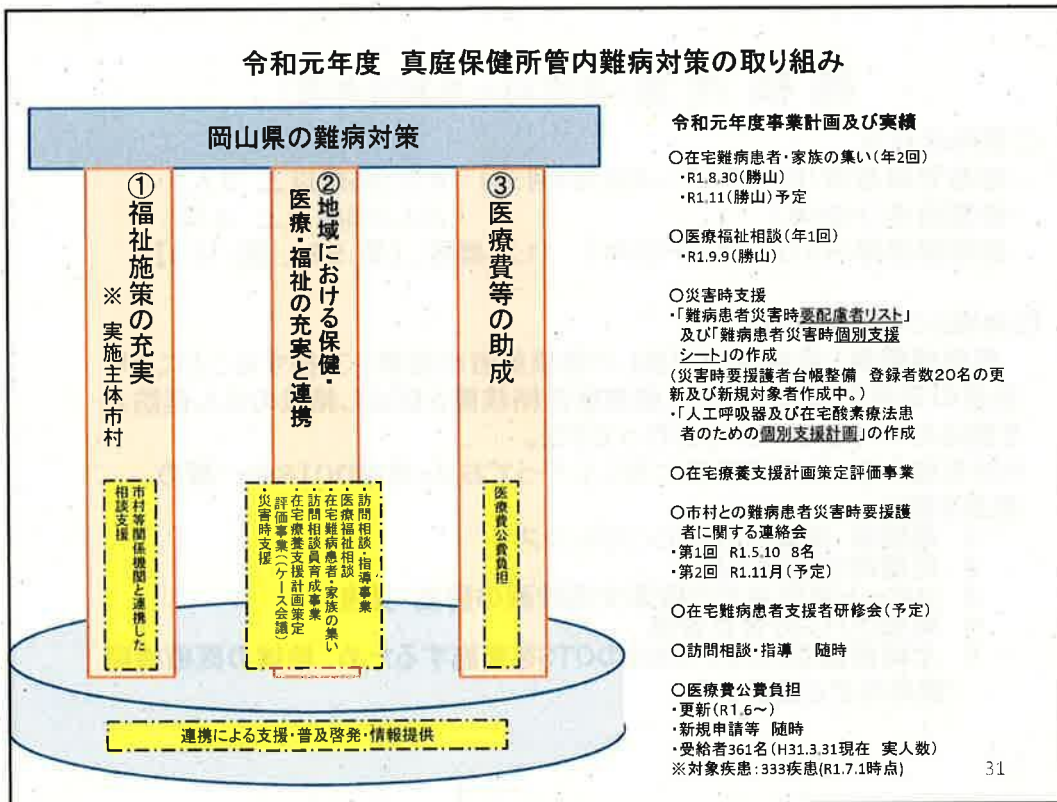
29

## 難病対策(平成30年度実績)

- 難病医療福祉相談 1回 6組 10人
- 在宅難病患者・家族の集い 2回 41人
- 災害時要援護者台帳整備 登録者数 20人
- 真庭市災害時要援護者に関する連絡会議 1回7人
- 保健相談 訪問実30人、面接79人、電話140人
- 特定医療費支給事業 患者数 361人(H30年度末 延人数)
  - ①パーキンソン病 81人
  - ②潰瘍性大腸炎 41人
  - ③後縦靭帯骨化症 21人
  - ④全身性エリテマトーデス 15人
  - ⑤特発性拡張型心筋症 13人
- 特定疾患治療研究事業 患者数 10人

30

## 令和元年度 真庭保健所管内難病対策の取り組み



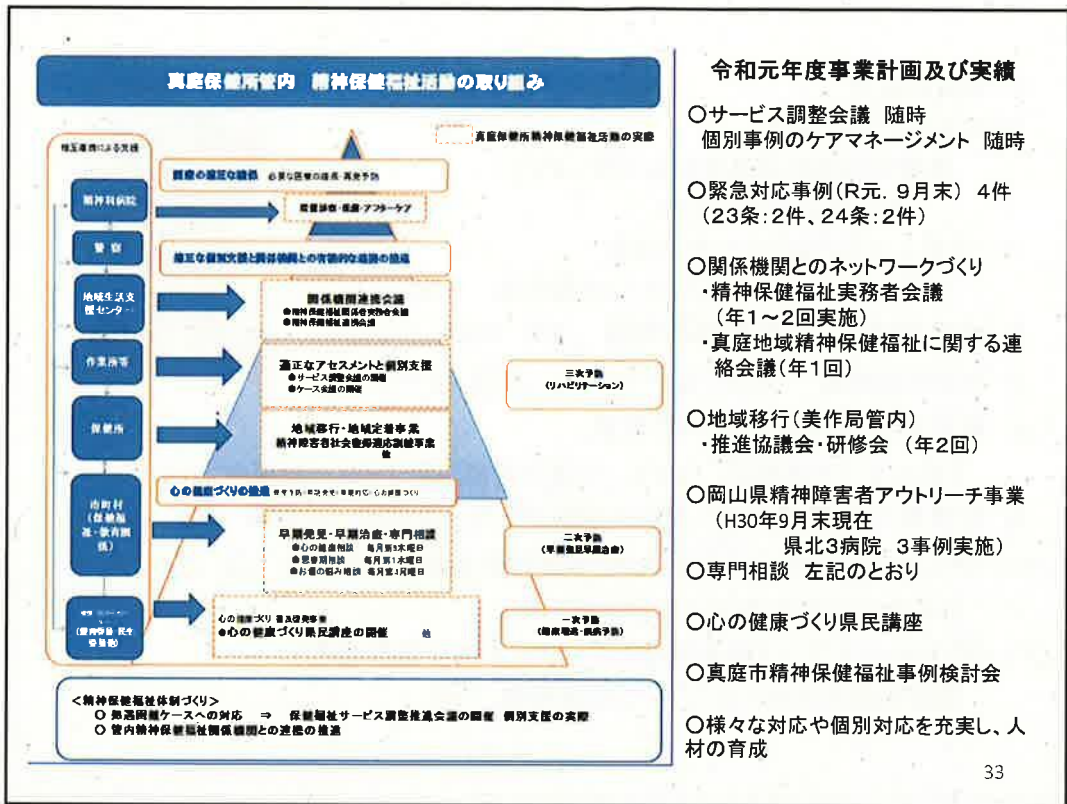
31

## 精神保健福祉(平成30年度実績)

- ・精神保健相談
  - (心の健康相談、思春期心の保健相談、酒害相談他)
- ・ひきこもり予防支援事業
- ・自殺予防対策・アルコール関連問題の普及啓発活動
- ・地域移行地域定着の推進
- ・精神障害者緊急対応・処遇困難事例への連携支援
- ・サービス調整会議への参画(32回)
- ・真庭地域精神保健福祉実務者会議(年2回)
- ・美作県民局地域移行推進協議会・研修会(年1回)
- ・心の健康づくり県民講座(児童思春期テーマ:1回:26人)

32





- 健康づくりの推進(平成30年度実績)**
- 1 第2次健康おかやま21セカンドステージの推進  
市村健康づくり行動計画見直し推進支援 6回  
健康づくりの普及啓発 2回
  - 2 健康生活環境整備
    - (1)「栄養成分表示の店」登録事業  
延登録店舗 62店(うち新規登録店舗 3店)(H31.3.31現在)
    - (2) たばこ対策  
禁煙・分煙実施施設認定(H31.3.31現在 233施設)  
たばこからの健康影響普及講座事業 4回
  - 3 給食施設指導強化事業  
給食施設管理者研修会 1回 34施設 37人  
給食施設従事者研修会 2回 40施設 47人  
巡回指導 11施設
  - 4 食品表示関係事業
    - (1)虚偽誇大広告に関する相談 相談 1件  
食品表示基準(保健事項)の相談・指導 相談 10件
    - (2)栄養成分表示見とく(得)事業  
あなたの食生活お支えし隊養成講座 1回 25人  
まちなか講習会 2回 36人
- 34

## 5 食育の推進

### (1) 食を育む環境整備

真庭地域食育推進協議会 2回 45人

・食育啓発媒体の作成

### (2) 栄養士会等と協働した食育活動

食育SATシステムを活用した栄養相談 1回

## 6 健康増進・栄養業務推進会議 3回 26人

## 7 栄養相談事業 (個別)延べ183人 (集団)延べ41人

## 8 糖尿病等生活習慣病予防事業

元気がすてき栄養展 108人、栄養改善協議会リーダー研修会 29人

## 9 糖尿病予防戦略事業 真庭市糖尿病予防戦略会議への参画 3回

## 10 がん対策 乳がん子宮がん検診受診促進事業 研修会 1回 28人

がん検診の受診率向上及び精度管理

## 11 国保ヘルスアップ推進事業(データヘルス計画を含む)

真庭保健所国保ヘルスアップ連携会議 1回

食育啓発ポスター



35

## 12 地域・職域保健連携事業

地域・職域連携推進会議 1回 11人 健康出前講座 2回 68人

## 13 愛育委員の育成と強化

総会及び研修会 1回 181人

理事会 5回 54人

リーダー研修会 1回 28人

思春期出前講座 1回 34人

## 14 栄養改善協議会の育成と強化

総会及び研修会(新任研修) 1回 171人 理事会 5回 52人

リーダー研修会 1回 29人 元気がすてき栄養展 1回 108人

## 15 愛育委員・栄養委員合同研修会

真庭版地域のお母さんがすすめる健康支援事業 検討会 1回 19人

研修会 1回 55人

36

## たばこ対策の状況

### 真庭保健所管内禁煙・完全分煙実施施設登録数

平成31年3月31日現在

施設種別	認定施設登録数
保健・福祉・医療施設	65
官公庁	32
教育関係機関	38
文化・運動施設	24
公共交通機関	1
娯楽施設	8
飲食店	31
一般企業	30
その他	4
合 計	233

37

## 糖尿病予防戦略事業(地域密着生活習慣改善サポート活動)

### 元気がすてき栄養展(第8回)

H30.9.19(マルイアルティ店)



栄養委員さんと  
栄養士会真庭支部の  
皆さんと生活習慣病  
予防の食生活を  
普及・啓発しました！



38

## 健康づくりの推進(令和元年度計画)

- 1 第2次健康おかやま21セカンドステージの推進
  - (1) 地域課題である高血圧・糖尿病等の生活習慣病を予防するため健康食習慣の普及啓発  
(県目標値:食塩摂取量の減少1日8g、野菜摂取量の増加1日350g)
  - (2) 市村健康づくり計画推進支援
- 2 健康生活環境整備
  - 「栄養成分表示の店」登録事業  
栄養士会と協働した新規店開拓及びガイドマップの活用
  - たばこ対策  
敷地内全面禁煙実施施設の認定  
たばこからの健康影響普及講座事業(小中学校3回実施予定)
- 3 給食施設指導強化事業  
管理者研修 (R元.10.4)、従事者研修(R元.10.30)
- 4 地域の特性を活かした食育の推進
  - (1) 真庭地域食育推進協議会 第1回 R元.6.20 第2回 R2.2.20
  - (2) 栄養改善協議会・栄養士会等と協働した食育活動

39

- 5 管内市村健康増進・栄養業務推進会議 3回
- 6 栄養相談事業 難病患者等
- 7 糖尿病等生活習慣病予防事業  
元気がすてき栄養展 R元.8.27、栄養改善協議会リーダー研修会 R元.9.17
- 8 糖尿病予防戦略事業 糖尿病予防対策検討会議
- 9 がん対策 乳がん子宮がん検診受診促進事業  
がん検診の受診率向上及び精度管理
- 10 データヘルス推進事業、特定健診等受診率向上に向けた市村支援
- 11 地域・職域保健連携推進事業  
連携推進会議の開催、健康出前講座
- 12 愛育委員の育成と強化  
総会及び研修会 理事会 リーダー研修会
- 13 栄養改善協議会の育成と強化  
総会及び研修会(新任研修) 理事会 リーダー研修会
- 14 愛育委員・栄養委員合同研修会  
真庭版地域ですすめる健康支援事業 検討会 報告会

40



## 元気が素敵！健康真庭の実現



県民の自主的な健康づくりへの取り組み  
ヘルスプロモーションの推進



市村



保健所



関係団体

住民参加の健康づくり  
各種の保健事業  
健康を支援する環境づくり

県民健康調査・分析  
市村の健康づくり推進支援  
関係団体等との連携  
広域的・専門的保健事業  
健康を支援する環境づくり

健康づくり活動への  
積極的な参加と支援

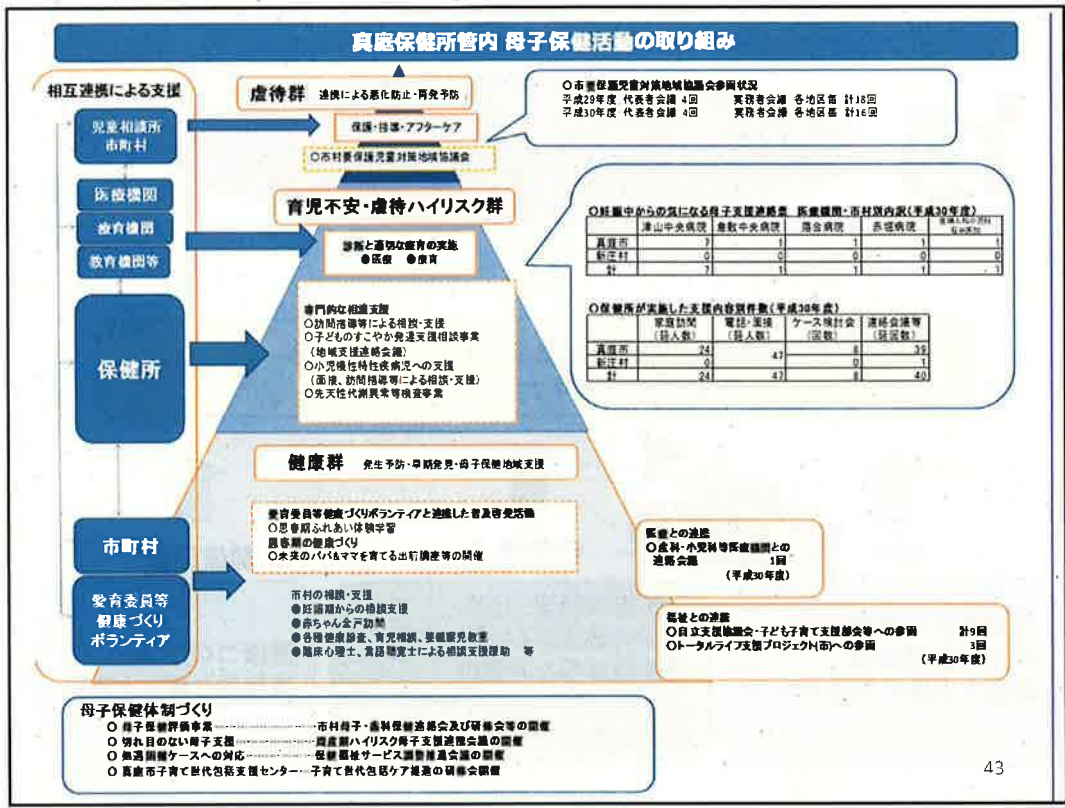
41

## 母子保健活動(平成30年度実績)

- 1 管内の母子保健体制充実に向けた支援
  - 母子保健評価事業(母子保健連絡会議等) 市:2回、村:1回 3回
  - 地域療育体制の推進(真庭市トータルライフ支援プロジェクト  
ワーキンググループへの参画等) 3回
  - 周産期ハイリスク母子支援連携会議 1回
  - 母子健康包括支援研修会 1回56人
- 2 子どもの健やか発達支援事業
  - 子どもの発達支援相談の開催 4回12人
- 3 未来のパパ&ママを育てる出前講座等推進事業
  - 未来のパパ&ママを育てる出前講座 実施2校
- 4 家庭訪問(小児慢性特定疾病・ハイリスク乳幼児等)24件、  
電話・面接47件、ケース会議への参画8回
- 5 市村要保護児童対策協議会への参画  
代表者会議4回、実務者会議16回
- 6 不妊に悩む方への特定医療支援事業 35件

平成(年)	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
助成件数	36	36	44	53	32	37	37	35

42



## 歯科保健活動(平成30年度実績)

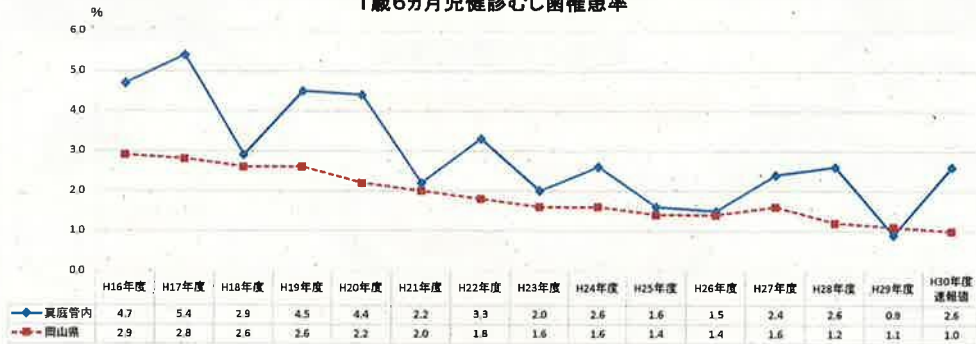
### 「真庭の子どもたちの歯を守ろうプロジェクト」 (H29～30年度地域振興事業調整費事業)

- 管内歯科保健関係者による乳幼児歯科保健対策の検討
  - ワーキンググループによる検討会 1回 7人
  - 各市村における歯科関係者会議の開催  
 真庭市 2回 27人 新庄村 1回 11人
- 歯科保健関係者研修会 1回 28人
- 乳幼児の家族・地域住民のための普及啓発
  - むし歯予防出前講座 7回 234人
  - 啓発資材の活用

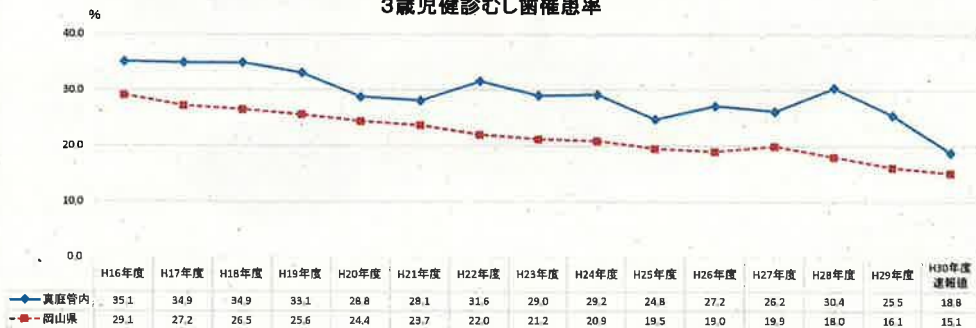
歯科保健関係者研修会

## 真庭保健所管内乳幼児むし歯罹患率の推移

1歳6か月児健診むし歯罹患率



3歳児健診むし歯罹患率

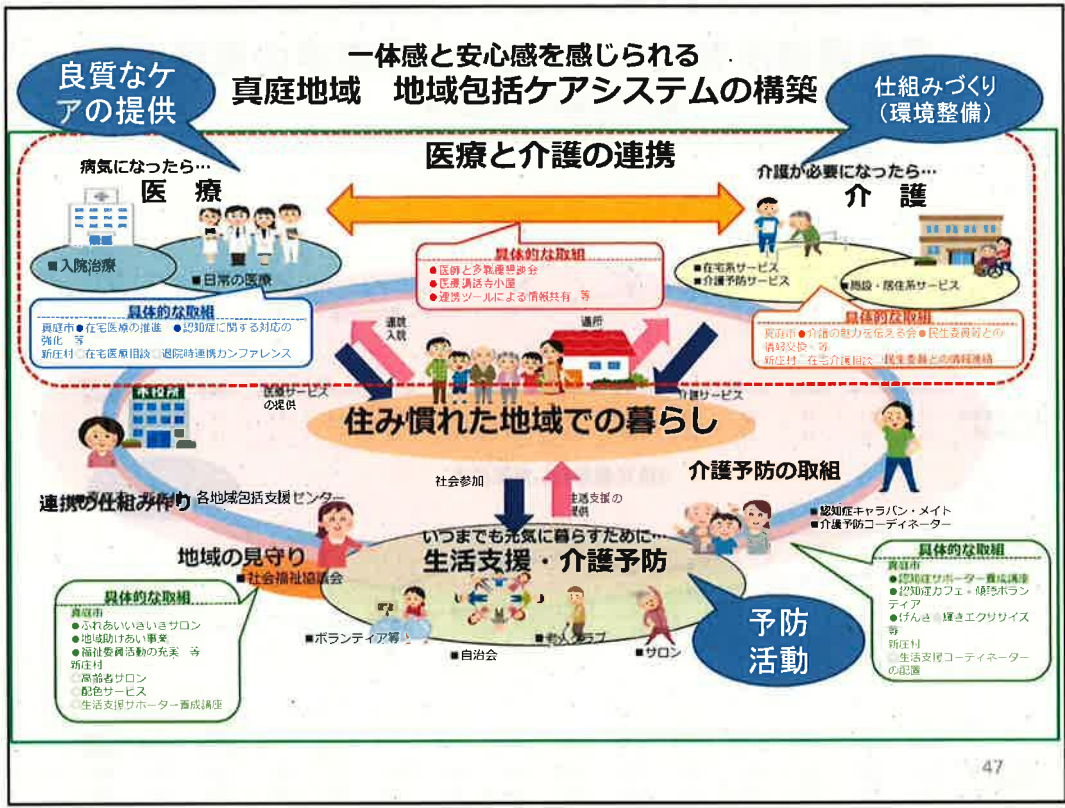


45

## 母子歯科保健活動(令和元年度計画)

- 1 管内の母子保健体制充実に向けた支援
  - 母子保健評価事業検討会(母子保健連絡会議)
  - 地域療育体制の推進(真庭市トータルライフ支援プロジェクトワーキンググループへの参画)
  - 周産期ハイリスク母子支援連携会議の開催 2回(6/4,10/1)
  - 母子健康包括支援センター(はぐくみセンター)の推進
  - 母子健康包括支援研修会の開催 1回
- 2 子どもの健やか発達支援事業
  - 子どもの発達支援相談の開催 4回(7/2,9/18,12/3,2/19)
- 3 未来のパパ&ママを育てる出前講座等推進事業
  - 未来のパパ&ママを育てる出前講座 3校実施予定  
北房中学校(10/31)、勝山中学校(11/7)、湯原中学校(11/22)
- 4 歯科保健対策支援
  - 各市村における歯科保健関係者会議への参画
  - 歯科保健関係者研修会の開催
- 5 家庭訪問(小児慢性特定疾病・ハイリスク乳幼児等)、面接相談、電話相談、ケース会議への参画
- 6 市村要保護児童対策協議会への参画、代表者会議、実務者会議
- 7 不妊に悩む方への特定医療支援事業

46



### 真庭地域在宅医療連携体制の推進 (平成30年度実績)

在宅療養等における医療の提供の推進や地域包括ケアシステムの構築のために在宅を支える在宅医療等の体制を一体的に推進できるよう支援する。

**組織図**

真庭圏域地域医療構想調整会議の開催  
(在宅医療についても併せて協議)

- ・在宅療養連携推進会議 2回
- ・訪問看護事業所連絡会議 2回
- ・在宅医療セミナーの開催 2会場  
 ～幸福な長寿社会の実現にむけて～  
 「真庭地域の在宅医療」  
 「訪問看護を通じた在宅支援」
- ・まにわ多職種懇談会(研修会) 2回  
 第1回「見える事例検討会」  
 第2回「入院から在宅に向けての多職種連携を考える」
- ・懇談会(研修会)企画会議 2回
- ・パンフレット「真庭地域の在宅医療」の普及



まにわ多職種懇談会研修会



## 在宅医療介護連携の推進(令和元年度計画)

地域の医療・介護の関係団体が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護を一体的に提供する。



医療・介護を必要とする高齢者が自分らしい暮らしを最後まで続けることができる。

- 1 在宅医療及び多職種連携の推進
  - ・在宅医療介護連携推進会議 2回
  - ・まにわ多職種懇談会実行委員会 2回
  - ・ACP(アドバンス・ケア・プランニング)普及啓発教材の検討会 3回
- 2 訪問看護事業所の連携強化
  - ・連絡会議の開催
- 3 在宅医療に関する人材育成
  - ・まにわ多職種懇談会(研修会) 2回
- 4 地域住民への普及啓発
  - ・在宅医療セミナー 1回
  - ・ACPの普及

49

## 真庭衛生課

- 1 食品衛生関係業務  
(食の安全・安心の推進)
- 2 生活衛生関係業務
- 3 薬務関係業務



50

# 平成30年度衛生課関係事業報告

## 令和元年度衛生課関係事業計画

**食の安全のため**  
**食品衛生法が改正されました**

「食品衛生法」は、食品による健康被害の発生を防止するために、食品の製造・加工・流通の各段階において、食品の安全性を確保し、国民の健康を保護することを目的として制定された法律です。令和元年6月1日より、食品衛生法の一部が改正され、新たな規制が導入されました。

- 1 食品の製造・加工工程への付随物規制**  
食品の製造・加工工程において、食品の安全性を確保するために、食品の製造・加工工程に付随する物品（例えば、包装材、容器、加工器具等）の安全性を確保するための規制が導入されました。
- 2 食品の製造・加工工程における食品衛生管理の徹底**  
食品の製造・加工工程において、食品の安全性を確保するために、食品衛生管理の徹底が求められました。
- 3 食品の製造・加工工程における食品衛生管理の徹底**  
食品の製造・加工工程において、食品の安全性を確保するために、食品衛生管理の徹底が求められました。
- 4 食品の製造・加工工程における食品衛生管理の徹底**  
食品の製造・加工工程において、食品の安全性を確保するために、食品衛生管理の徹底が求められました。
- 5 食品の製造・加工工程における食品衛生管理の徹底**  
食品の製造・加工工程において、食品の安全性を確保するために、食品衛生管理の徹底が求められました。
- 6 食品の製造・加工工程における食品衛生管理の徹底**  
食品の製造・加工工程において、食品の安全性を確保するために、食品衛生管理の徹底が求められました。
- 7 食品の製造・加工工程における食品衛生管理の徹底**  
食品の製造・加工工程において、食品の安全性を確保するために、食品衛生管理の徹底が求められました。

「HACCPによる衛生管理方法は、事業者が自らの責任において、食品の製造・加工工程において、食品の安全性を確保するために、食品衛生管理の徹底を求められています。」

**衛生管理を徹底させることのできることで**

51

## 1 食品衛生関係業務 (食の安全・安心の推進)

### ○監視指導

1 対象施設数 2,155件

2 監視件数 1,047件

① 一般監視(通常監視)

② 重点監視(社会的影響度が高い食品取扱施設の監視)

重点監視件数 86件(122)

\* ( )は対象施設数



52

## ○食品等の試験検査

### 1 収去検査件数 255件

- ① 検体収去先 食品製造施設・調理施設・食品販売店等
- ② 検査対象 原材料・中間製品・製品・流通食品・  
その他(ふきとり検査など)
- ③ 検査項目 規格(細菌・化学検査)、添加物、  
残留農薬等

### 2 試買検査件数 37件

重金属等有害物質の汚染実態調査、アレルギー物質の検査、  
かび毒(アフラトキシン)汚染実態調査、  
腸管出血性大腸菌汚染実態調査

53

## ○食の安全に関する理解の促進

- ・ 食品衛生講習会 16回 490人  
(内体験型衛生講習会 4回 71人)
- ・ 食中毒予防の啓発  
8月食品衛生協会と連携して広報活動
- ・ 食の安全相談窓口 189件



54

## 令和元年度食品衛生関係業務事業計画

- 1 食品衛生関係施設への監視指導
  - ①重点監視
  - ②一般監視
  - ③大量調理施設の一斉取締り
  - ④夏期食品・年末一斉取締り
- 2 食品等の試験検査
  - ①収去検査(残留農薬、輸入食品を含む)
  - ②試買検査
- 3 消費者、食品事業者への啓発
  - ①改正食品衛生法の周知
  - ②「HACCPに沿った衛生管理の制度化」の周知及び対応支援
  - ③食品衛生講習会、食中毒予防の啓発
  - ④食の安全相談窓口の相談対応



55

## 2 生活衛生関係業務

### ○生活衛生営業関係監視指導業務

- ①理・美容所、クリーニング所監視指導件数 87件(219)
- ②公衆浴場監視指導件数 16件( 33)
- ③旅館業監視指導件数 38件(119)

\* ( )は対象施設数

### ○レジオネラ対策

- ①浴槽水の採水検査  
(公衆浴場・旅館等) 21施設 50検体



### ○遊泳用プール対策

- ①プール水の採水検査  
・検査件数 8施設 5検体

56

## 令和元年度生活衛生関係業務事業計画

- 1 レジオネラ症発生防止対策
- 2 生活衛生関係営業施設の監視指導及び自主管理の推進
- 3 建築物の衛生管理指導
- 4 遊泳用プールの衛生確保対策
- 5 水道法関係業務
- 6 温泉法関係業務



57

## 3 薬務関係業務

### ○薬局等監視指導

- ・薬局、医薬品販売業等の通常監視及び一斉指導監視  
監視指導件数 243件(308)

### ○毒物劇物危害防止対策

- ・監視指導件数 46件(54)  
\* ( ) は対象施設数

### ○献血事業

- ・献血者(住所別) 1,863人
- ・献血車配車実績 22台
- ・400ml献血者(再掲) 1,567人



58

## ○麻薬・覚醒剤等薬物乱用防止対策

- ① 監視指導件数 25件(52)
- ② ケシ除去 10ヶ所 357本
- ③ 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

\* ( )は対象施設数

### 【覚醒剤等薬物乱用防止 ヤング街頭キャンペーン】

- ① 日時:平成30年6月27日(水)
- ② 場所:真庭高校(落合校地・久世校地)
- ③ 参加者:89名(高校生等約450名を対象)  
薬物乱用防止指導員・行政・警察
- ④ 内容  
通学途中の高校生等に啓発資材を配布し、  
危険ドラッグ等薬物の乱用防止を呼びかけ



59

## 令和元年度薬務関係業務事業計画

- 1 医薬品等の安全確保対策
  - ・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく監視指導
- 2 毒物劇物の危害防止対策
  - ・毒物劇物営業者に対する監視指導
- 3 献血推進事業
  - ・献血者の確保対策
- 4 覚醒剤等薬物乱用防止事業
  - ・街頭キャンペーン等各種普及啓発の実施



60